

地域学校協働活動とは

地域の幅広い住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、**地域と学校**が相互に**パートナー**として**連携・協働**して行う活動。

【地域の人材を生かす】

- 支援ボランティアによる活動
 - ・読み聞かせ、各教科支援等
 - ・花壇・図書室整備、登下校見守り等
- 企業等との連携
 - キャリア教育、出前授業等

【地域の資源を生かす】

- 地域資源を活用した校外学習
 - 文化財、職場体験等
- 社会教育施設の活用
 - ・公民館がもつ地域情報の活用
 - ・図書館等での調べ学習や体験学等

学 校

【学校の力を生かす】

- 学校の教育力を生かした活動
 - PTA研修、学校開放講座等
- 学校施設を生かした活動と交流
 - 防災訓練、合同学習等

【地域行事等への参画】

- 地域での活動
 - 清掃、福祉、文化活動等
- 地域の団体との連携
 - あいさつ運動、祭りへの参画等

組織・体制

事業内容の
検討・検証

地域学校協働本部
運営委員会

(構成員)
学校長(校長会より6名)
社会教育委員、推進員
指導主事

事業内容の
検討・検証

高齢者、成人、保護者
PTAなど

学校運営協議会

学校運営・その運営
に必要な支援につ
いて協議

(構成員)
推進員、保護者、
地域住民
学校関係者 など

連携・協働

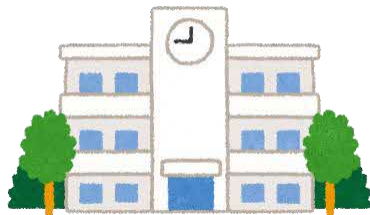
地域学校協働本部(1本部)

学校運営協議会等で決定した
ことを行う実行部隊

(構成員)
地域連携担当教職員、
推進員 など

参画

活動に関わる地域住民等



各種会議等

R7.10推進員定例会の様子

○推進員定例会(年6回程度)・・・推進員、教育委員会

→推進員活動の現状や困りごとなどを共有。課題解決を図る。

→R6.5～学校運営協議会の状況についての報告を追加。

→R7.6～統括推進員と教育委員会との定例会を開始。



○協働本部会議(年3回)・・・推進員、各校担当者 + **学校運営協議会委員**

→県統括アドバイザー山平氏に講師依頼。コーディネート会議に学校運営協議会委員が加わる形式は**県内初の取組**。令和6年度より、「**コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進**」をテーマとし、会議を通して校区の枠を超えた横のつながりができている。様々な立場の方が各々の役割を果たし、共通認識を持ちながら各校の学校運営協議会の活性化が図られることを期待している。

○運営委員会(年1回)・・・社会教育委員、統括推進員、校長6名、指導主事

→地域学校協働活動、放課後子ども教室、地域未来塾及びCSの現状報告。

※CSについては代表校に現状を報告いただき、効果・検証等を行っている。

令和7年度地域学校協働本部会議

講師:山平 敏夫 県統括アドバイザー

開催期間:7月～翌年2月。令和7年度は年4回開催予定。

参加者:各学校地域連携担当者、推進員、行政職員、**学校運営協議会委員**

テーマ:「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」



R7.7 第1回会議



R7.8 第2回会議



R7.10 第3回会議



【今後の予定】第4回…令和8年2月に「実践報告会」として開催予定

地域学校協働活動 推進員

統括的地域学校協働活動 推進員



(たぞえみなこ)
田添 美奈子さん
(16年目)

【統括推進員の職務】 ※要綱より抜粋

- (1)各推進員との連絡調整及び情報共有に関する活動
- (2)推進員研修及びボランティア養成に関する活動
- (3)地域学校協働活動の推進に関する活動

令和7年度においては
11名で活動しています。

【推進員の職務】※要綱より抜粋

- (1)地域の教育課題解決に必要な連絡調整に関する活動
- (2)地域及び学校の教育活動への支援、企画及び参加促進に関する活動
- (3)学校運営協議会その他必要な協議体との連絡調整に関する活動
- (4)その他推進員の設置の目的を達成するために必要な活動

海陽中校区

一小 万田小
有明小 清里小



(たなかこずえ)
田中こずえさん
(1年目)万田小



(うらべきみこ)
浦部希見子さん
(3年目)有明小



(やまもとあき)
山本亜希さん
(6年目)平井小



(なかのえりか)
中野絵理香さん
(4年目)緑ヶ丘小



(さかたみねこ)
坂田峰子さん
(1年目)緑ヶ丘小

三中校区

平井小
緑ヶ丘小 中央小



(さわむらかずひろ)
澤村和広さん
(1年目)中央小



(にしだこうじ)
西田耕治さん
(1年目)中央小

四中校区

八幡小
府本小 桜山小



(いでさとこ)
井手智子さん
(5年目)桜山小



(おがわきみこ)
小川公子さん
(2年目)府本小



(はまぐちあかね)
濱口 茜さん
(6年目)八幡小

サマースクールについて

★H29より小中連携事業として万田小でスタート。中学生が出身小学校へ行き、夏休みの宿題で分からない所を教えたり、丸付け等をしている。

R7.7【清里小サマースクール】



新たなサマースクールの形(学校運営協議会からの発案による学習会の開催)

【荒尾第一小学校 ふれあい学習会】

・学校運営協議会における「まなびづくり部」からの発案。夏休み最後の週に学習会を開催することで、長期休暇から通常の学校生活にスムーズに移行できるよう支援することを目的に、令和5年度からスタートした。

荒尾海陽中校区以外でも小中連携のサマースクールの動きが…

【平井小 サマースクール】

・R7.8.21(木)開催。
・小中連携の一環として、荒尾第三中の生徒がボランティア講師となり児童をサポート。



事業の実施状況について

年 度	支援活動数(回) ※支援活動報告より	ボランティア のべ数(人) ※推進員依頼分	ボランティア のべ数(人) ※重点努力調査より
R元年度	1,579	7,580	29,571
R2年度	1,457	5,001	19,857
R3年度	1,580	6,624	23,899
R4年度	1,267	6,525	23,114
R5年度	752	6,752	29,361
R6年度	863	6,148	27,551

当初は地域学校協働活動推進員を介して支援が広がっていったボランティアも、学校運営協議会委員を通じたボランティア依頼や、直接学校から依頼がかかる支援事業等、内容に応じた様々なボランティアの形が各校で展開されている。

まとめ

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

【目的】

地域と学校が連携・協働し、**子どもたちの学びや育ちを充実させること**
(社会に開かれた教育課程の実現)



目的達成のための取り組みを、①学校運営改善②地域活性化につなげる視点も大事

○学校＋推進員の連携

推進員が各担当校を定期訪問開始(R7.11～)

地域連携担当教職員との定期的な情報交換のほか、実施済み事業等に係るボランティア集計、各校の実情に応じた地域活性化につながる取組の模索等更なる連携を図っていく。

○学校＋推進員＋学校運営協議会委員の連携

本部会議の開催により、教職員、推進員及び学校運営協議会委員の交流が深まり、意見交換や活動事例を共有することで本活動における効果を実感する場となっている。今後も引き続き展開していく。

○学校＋推進員＋教育行政の連携

推進員定例会で挙げた事例の共有をはじめ、学校や推進員からの疑問や質問に丁寧に対応し、寄り添う「日本一現場に近い教育行政・チーム荒尾市教育委員会」を目指し、行政も本目標を進めていくための下支えとなる。